

令和6年10月31日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す 住 み よ い げん き な みどり の さと おお くさ の 野

色々心配した 久しぶりの 合同体育大会

でも、バッチリできました！ 10月20日：日曜日



前日の梅雨のような雨模様から、一転して肌に冷たく感じる秋風が吹く中、朝7時から、先生方はもちろん、PTA、区の役員などが大勢出動しての準備が進められました。そんな様子に、校長は、「さすが大草野、準備が早い！」と、独り言でも言うかのように呟いていました。少子化などもあって、コロナ禍以前と同じようにたくさんの種目はできないかもしれませんが、伝統の校区体育大会は、「継続する」ことが一番大切なのです。

地域で行われる行事に対する最近

の風潮は、止めてしまう方が簡単だし楽だ、と思う人たちが多くなっているようですが、それでは地域のつながりは次第に無くなってしまわないかと思えます。開会式、準備体操から、いよいよプログラムがスタートです。子ども達が勢いよく走りだしました。



久しぶりに見るこの風景です ^^

ハイ！」と応えて飛び出していく。実に微笑ましい光景だと感じました。体育大会の内容や進め方は、地域の事情が変化して行く中で少しずつ変えて



花壇のコスモスもほぼ満開！

いかなければなりません、学校又は地域のどちらかの負担が大きくなれば継続は難しくなります。「いかに続けるか」を試行錯誤していければと思います。そのコツは相互理解でしょうし、疑問を残さないように徹底して話し合うことではないでしょうか。この写真を見て記事を書きながら、何故か、瓦礫の中から運び出されるウクライナやガザの子ども達の映像を思い出してしまいました。あの子どもたちにも大草野の子どもと同じような時間を持たせてあげられないかな……と。



伝統の面浮立、この子らの親世代も踊りました！

第15回 大草野コミュニティグラウンドゴルフ大会 (10月27日：日)



みんながそうだと思いますが、外で行う行事のときに一番気になるのが天候です。数日間、不安定な天気が続き心配しましたが、当日は、思った以上に天気が回復して、暑いほどになりました。

10月は、普段でさえ行事がいつばいの月ですが、全障スポ、そして余計な選挙まで重なり、参加者が42人と、私が事務局を担当して一番少ない参加数となりました。開会式では、大変多忙な中、市長が挨拶に来ていただき、大草野コミュニティが、国スポ全障スポをかかし制作で来訪者のおもてなしをしていることに御礼を述べられました。



競技結果は、左の表のとおりです。南下の前田俊明さん(79歳)が3人が同スコアなが

大会成績 (順位・打数)					
順位	氏名	前半	後半	合計	行政区
1	前田 俊明	20	24	44	南下
2	池田 正則	23	21	44	式浪
3	香田 賢二	24	20	44	式浪
4	諸岡 良信	21	24	45	南下
5	富永 宏史	21	24	45	万才
6	福田 初枝	28	17	45	万才
7	田口 浩	22	24	46	南下
8	山口 辰哉	23	23	46	南上
9	前田 弘一	23	24	47	南下
10	江口 誠一	26	21	47	角ノ谷
敢闘賞	香田美代子	34	30	64	式浪

ホールインワン賞		
氏名	行政区	回数
諸岡 良信	南下	1
富永 宏史	万才	1
福田 初枝	万才	1
池田 正則	式浪	1
吉田 範男	長谷下	1
一ノ瀬俊孝	角ノ谷	1
香田 寛恵	式浪	1

ら、年長者と言うことで、見事優勝されました。また、第1ホールの1番打順だった諸岡良信さんは、いきなりホールインワンをされるといふ快挙もありました。とにかく、皆さんと楽しく過ごせてよかったです。

◎丹生神社 秋祭り◎ (10月23日：水)

大草野地区の中では大きな行事として、長きにわたって営まれてきた丹生神社の秋祭り、心配された天気も曇り空から、午後には太陽が顔をのぞかせるようになり、無事に開催されたようです、お疲れ様でした。今年の担当区は、南上下区で区長のお二人は準備とお世話が大変だったと思います。終われば、もう次の祭りに向けてのスタートです、次の担当区さん、よろしくお願いします。(取材に行けませんでした。)

◇防災広場の除草作業◇ (10月19日：土)

★グラウンドゴルフ大会の前にキレイにしました!★

10月27日(日)のグラウンドゴルフ大会を前に、防災広場の除草作業を役員で行いました。参加は5名と少なめでしたが、1時間ちょっとでプレーに支障がない程度に雑草を取り除くことができました。

普段からグラウンドゴルフをしておられる方からすれば物足りない状態かも知れませんが、コミュニティの大会は、親睦が目的です。和気あいあいと過ごすことを一番に思ってください。

へ編集後記へ
「理論派ゆえに・・・」

衆議院選挙、投票に行かれたでしょうか？
石破首相は、「不信を問う！」ではなく「不信を問う！」と言っていたのではなにかと疑うくらいの開票結果になりましたね。

石破さんは党内でも理論派で通っているとのことですが、今回の一連の選挙に対する判断を見ていると、「正しい」と信じている自分の理論が先走り、国民の感情が理解できていないのではないかと感じるくらいでした。

あの、不機嫌そうな顔を四六時中目にするのを国民は望んではいない、という意識が少しでもあれば、自民党の票が伸びないのは自明ではなかったかと、私は思います。理論派の石破さんはそうは思わなかったのでしょうか。

「我が事憂める大馬鹿者になるな」と子どもの頃から、亡くなった母からいつも注意されてきました。

石破さんは、自民党の総裁選に勝ったことで、自分のことをすべて認められたと勘違いされたのではないかと、と思うほどの軽挙ではなかったでしょうか？

私はいつも思う、世の中の採め事や好ましくないこととの殆どが、自惚れと思いがかりでできているかと。